

広報

かわみなみ

Vol.192 2026.1.8

<https://www.town.kawaminami.miyazaki.jp>
<https://www.facebook.com/kawaminamitown>



令和7年11月9日
第11回ロードレース大会 in かわみなみが
開催された。

年始の挨拶

川南町長 宮崎吉敏



町民の皆様には希望に満ちた新春を健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、令和6年に発生した能登半島地震からの復旧・復興は依然として重要な課題であり、私たち自身の防災意識と備えの重要性を改めて深く認識する一年となりました。また、国際情勢の変動や物価高騰など、経済を取り巻く環境は決して楽観視できない状況が続いておりますが、同時にAI技術などの革新は目覚ましく、社会のあらゆる分野で新たな可能性が模索された年でもあります。

こうした社会情勢の中、川南町では「豊かさを活かし 共に未来を拓くまちかわみなみ」を目標に、着実に歩を進めてまいりました。特に、子育て世帯を支えるための切れ目のない支援を拡充するため、若い世代が安心して子どもを産み育てられる環境整備に注力しました。

また、基幹産業である農業・畜産・漁業においては、産地ブランド化に向けた取組をスタートさせ、「食の宝庫」としての基盤強化に努めた一年となりました。多くの町民の皆様が積極的に町政に参加してくださったことに、心から感謝申し上げます。

令和8年は、未来への希望を確かなものにするため、さらにスピード感をもって町政を推進する一年とし、喫緊の課題である人口減少と少子高齢化を食い止めるために尽力いたします。

産業面では、地域内消費の喚起と流通網の開拓を図ることで、本町の経済を牽引する力強い産業構造を確立します。また、電子地域通貨トロンの活用で、地域内資金循環の拡大を図ります。

生活基盤では、高齢者の健康づくりや地域活動を支える仕組みづくりを進め、高齢になっても「健幸」で笑顔あふれ、楽しく過ごせる地域を目指していきます。

最も重要な責務である防災については、改めて地域の皆様との連携を密にし、これまで行ってきた自主防災組織の育成を推進します。

私は、町民の皆様とともに汗を流し、この町に生まれ育ったことを心から誇れる、魅力あふれる未来を共創してまいります。

皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が川南町にとって、そして町民の皆様お一人おひとりにとって、幸多き実りある一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



フナの稚魚を放流しました

令和7年10月27日(月)、垂門橋下の平田川下流にて、平田川淡水漁業協同組合により約1200尾のフナの稚魚が放流されました。

放流には、中央保育所の園児約20名が参加しました。最初は少し怖がっている子どももいましたが、何度か放流を繰り返すうちに慣れてきたようで、最後はフナを直接、手でくつって放流していました。

この放流は、川の生態系を維持することを目的とするとともに、子ども達に川の環境を大切にすることを育んでもらうために行われています。



タニタヘルスリンクとの包括連携協定



令和7年10月8日(水)、川南町役場にて「川南町と株式会社タニタヘルスリンクにおける健幸まちづくりの推進に係る包括連携協定締結式」が行われました。

この協定は、健康づくりを推進することにより健康寿命の延伸を図るとともに、健康を核に様々な分野との政策間連携により地域活力の創造と地域活性化に結びつけ、「健幸なまちづくり」を推進することを目的としています。

【健康ポイント事業】

この事業は、スマートフォンアプリを活用したウォーキングなどの健康づくり活動に参加することで、歩数などの活動状況に応じた健康ポイントが付与され、その健康ポイントを電子地域通貨トロンに交換できるものです。

美術館がやって來た

令和7年11月15日(土)、サンA川南文化ホールにて、「旅する美術館」が開幕しました。旅する美術館(タビビ)は、多くの方に身近な場所で本物の美術作品に親しんでもらえるよう、宮崎県立美術館の収蔵作品を県内各地で展示・紹介する展覧会です。

ピカソやマティス、中川一政ら国内外の巨匠たちによる名品や瑛九をはじめ本県を代表する郷土作家の塩月桃甫、山田新一などの作品が多数展示されました。



役場の仕事を体験

令和7年12月3日から4日までの2日間、宮崎県立佐土原高等学校2年の下宮一葵さんと吉川優花さんが、インターンシップで川南町役場を訪れました。

下宮さんたちは、町が実施する小学生の模擬選挙(学校給食選挙)の様子を取材し、写真撮影や記事作成を行いました。また、模擬選挙の開票業務にも挑戦しました。

下の記事は、2人が作成したものです。



東小学校で選挙体験

授業の様子 //

東小学校に訪問して「選挙」に関する出前授業を行いました。

クイズをしたり、資料を見て自分たちの意見を述べたり、積極的に授業に参加する様子が見られました。

また、「川南町議会議員選挙の投票率が約65%」などの具体的な情報を聞き、より深く学ぶことができました。

授業で学んだことを生かして、選挙体験を行います。



班活動での様子 //

今回は「給食総選挙」を行いました。

6年生が①チキン南蛮、②コーンラーメン、③ポークカレーの3つのグループに分かれてポスターや応援演説の原稿作りを行いました。

それぞれの給食をアピールするために工夫して作成していました。

ポスターは実際に校内に掲示され、演説は昼休みに校内放送で行いました。

いよいよ投票!!! //

6年生のみなさんが作ってくれたポスターや演説を踏まえて、体育館で全学年投票を行いました。

実際の選挙と同じような流れで、投票を行います。

6年生の姿を見て、下級生も投票の仕方などを理解していく様子も見られました。

子ども達からは、「とても楽しかった。」「18歳になつたら選挙に行く。」などと、選挙に対して前向きな考えを聞くことができました。





ガブリビヨリ'25

令和7年10月5日(日)、川南町運動公園陸上競技場にて、食の祭典「ガブリビヨリ'25」が開催されました。当日は、町内外から20店舗以上のお店が集結。ハンバーガー、サンドイッチ、ホットドッグ、カレー、スイーツ、クラフトビールなどが提供されました。



令和7年度総合防災訓練

令和7年10月5日(日)、川南町総合防災訓練を実施しました。この訓練は、南海トラフ巨大地震が発生し大津波警報が発令されたという想定で行われました。

この日は、「みんなで取り組もう主体的な自助共助」をテーマに、役場で実施した災害対策本部活動訓練のほか、町内各地で初期消火訓練、津波避難訓練、炊き出し訓練、避難ルート、危険箇所の確認などが実施され、川南町の防災体制及び町民防災意識の向上を図ることができました。



KAWAMINAMI



て、ゲストランナー関根花観(はなみ)さんが
されました。



レース後、温かい豚汁やおにぎりをいただきました！

る軽食の提供、沿道からの応援等、多くの皆様が大会を支えてくださいました。早朝からの
走ちは少し涼しくなった川南の町を走り抜けました。

ROAD RACE IN

令和7年11月9日(日)、川南町運動公園及び周辺道路にて、ロードレース大会 in かわみなみが開催されました。

11回目となる今大会には、県外参加者47名を含む704名がエンター。10km、5km、3km、2km、ウォーキングの部が設けられ、各々の体力等にあわせたコースを楽しみました。



今大会も、中学生がボランティアとして参加したほか、地域婦人連絡協議会の皆様による雨で天候が心配されましたが、ランナーがスタートするころには雨も上がり、参加者さんた

優良運転者表彰

令和7年11月17日(月)、川南町役場にて優良運転者等表彰伝達式が行われました。

優良運転者表彰とは、交通規則を守り、長年にわたり無事故・無違反で模範的な運転を続けてこられ、地域の交通安全の推進に寄与した方を表彰するものです。

交通安全への取組や日々の努力に対して感謝と敬意を込めて、今年は8名の方に表彰状が授与されました。



「災害時連絡方法のてびき」贈呈式

令和7年11月14日(金)、公益財団法人日本公衆電話会宮崎支部の岩切支部長らが役場を訪れ、「災害時連絡方法のてびき」等の贈呈式を行いました。

岩切支部長は「川南町は日向灘に面しており、地震時に津波の被害が考えられる地域がある。この手引書を活用してもらうとありがたい。」と語られ、宮崎町長は「災害が起こる前に備えておくことが大事。手引書は小・中学校に提供し、是非活用したい。」と述べました。



みやざきシェイクアウト

令和7年11月5日(水)、県民一斉防災行動訓練「みやざきシェイクアウト」を実施しました。

役場内では、地震発生の訓練放送が流れた後、職員が一斉に安全確保行動「まず低く(drop)、頭を守り(cover)、動かない(hold on)」を行い、大規模地震発生時に身を守るための行動を実践しました。



「軽トラ市」inジャパンモビリティショー2025

令和7年11月8日(土)、東京都江東区の東京ビックサイトにて開催された「軽トラ市」inジャパンモビリティショー2025に、トロントロン軽トラ市を管理運営する川南町商工会とJAみやざき尾鈴地区本部の2団体が出店しました。



このイベントは、一般社団法人日本自動車工業会 (JAMA) が主催するジャパンモビリティショーにおいて軽トラックを地域の活性化ツールとして紹介し、来場者に日本の地域文化と軽自動車の多様な使い方を体験してもらうものです。

川南町の2団体は、商工会オリジナルの肉みそや町産加工品、さらピーマンなどを販売しました。



中央地区子ども・敬老秋祭り

令和7年11月3日(月)、農村環境改善センター前駐車場にて、中央地区子ども・敬老秋祭りが開催されました。この祭りは、中央地区自治公民館が地域の敬老行事と子ども祭りを同時に行うものです。

同センター内で行われた敬老行事では、エイサー や津軽三味線、手品等のパフォーマンスが披露されました。

同駐車場ではマグロの解体ショーが行われたほか、じどっこ焼き鳥や焼きそば、おでんなどたくさん屋台が並び、訪れた約1,000人の来場者は川南グルメを堪能しました。



民生委員・児童委員委嘱状交付式

令和7年12月1日(月)、川南町総合福祉センターにて、民生委員・児童委員委嘱状交付式が開催されました。

宮崎町長は「長い間地域の福祉の充実に貢献していただきありがとうございます。これからも全ての町民が取り残されないようにご協力をよろしくお願いします。」と述べました。



コミュニティ助成事業

令和7年度宝くじ助成事業で、町内集会施設の備品整備を行いました。

宝くじの社会貢献広報事業として、地域文化の振興やコミュニティ活動の支援などをはじめ、地域振興のために様々な事業を行っています。

今回はその助成事業を活用し、清水振興班の公民館にエアコン・掃除機・発電機などの備品を整備しました。地区の集会や交流活動などが快適に行えるようになり、より一層充実した活動ができるようになりました。



地域おこし協力隊活動報告

ハロウィンイベントを実施しました！ 赤野 未夢

10月に川南町子育て支援センターの定期講座「第4回英語であそぼ」を実施しました。今回はハロウィンがテーマだったので、いつもの英語教室とは違って、子どもたちは、魔女やプリンセス、ドクターや警察など個性豊かな姿に扮して参加してくださいました。

イベントの後半に実施したトリックオアトリートツアーやでは、トロントロン商店街の6店舗の方にご協力いただきました。お店の方々が沢山可愛いお菓子を用意してくださっていましたので、イベントの最後には抱えきれないぐらいのお菓子を抱えてにこやかな様子の子どもたちでした。

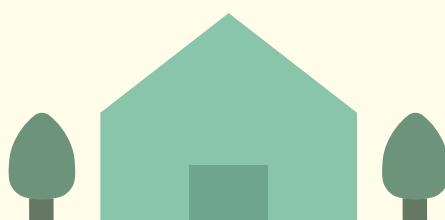
今年もお店の方々や参加者の方々のおかげで、楽しくハロウィンイベントを終了することができました。ありがとうございました。



カスタム移住体験事業を実施しました！ 塚井 穂乃佳

今年の7月から10月にかけて、「カスタム移住体験事業」を実施しました。

この取組は、移住を検討されている方それぞれの希望にあわせてプランをカスタマイズし、町案内や交流を通して川南町での“リアルな暮らし”を体験していただくプログラムです。募集開始から1か月ほどで定員3組が満員になり、参加者からも「川南町の人の温かさを感じました！」という声が続々届きました。さらには、この事業に協力してくださいました先輩移住者の方や地元の方からも、「改めて川南町の魅力に気づけた」といった温かい言葉をいただきました。これからも、川南町の魅力を多くの方に伝えられるように頑張ります！



アートワークショップ「こすり染めて首飾り」 浜田 翔子

10月4日に行われた通山十五夜まつりにて、アートワークショップ「こすり染めて首飾り」を実施し、約40名の方にご参加いただきました。

こすり染めとは、植物を布の上に置き、こすりつけて植物の色や形を写し取る方法です。

今回は、身近な野草のツユクサとイヌタデの葉を用いました。

葉をすり棒でこすり、色や形が布へ転写されると「すごい！」と驚きの表情。野草の形、色、匂い、手触りなど、五感を通して新たな発見が生まれていました。

完成した首飾りを身に着けてお祭りを楽しんでいる様子が印象的でした。四季の移ろいや身近な小さな出来事を深く楽しむきっかけの一つになっていただけたら幸いです。ありがとうございました。



整体院開業に向けて 高橋 寛行

柔道整復師の資格と、移住前の整骨院に勤務していた経験と、川南町地域おこし協力隊の活動を生かし、川南町に定住するために整体院を開業します。

現在、決まっていることは、院名が『たかはし整体院』。ロゴデザインは協力隊の浜田翔子さんに依頼し、温かみがあり、誰でも親しみのあるロゴを制作していただきました。場所は、町中心部になります。河野木材産業に店舗を建築していただき、賃貸契約することになりました。令和8年4月1日オープンを目指に、たくさんの方にご協力いただいているいます。

次号の広報かわみなみや協力隊Facebook、個人Instagramで開業決定のお知らせができるよう、引き続き取り組んでいきます！





千切り大根のコールスロー風サラダ

今回は、千切り大根を使った和え物をご紹介します。

大根を天日乾燥させることで、うまみと栄養素が凝縮され、生の大根よりもカルシウム、鉄分、ビタミンB1、ビタミンB2などの栄養素を多く摂りやすくなります。

また、噛み応えのある食感が特徴の千切り大根ですが、しっかり噛んで食べられていますか？

噛む力が弱くなると、食べられる食材が限られてくることで食事のバランスが偏りやすくなり、心身機能の低下につながるといわれています。

ヨーグルトを使用することでおなかにもやさしく、さっぱり食べることができます。



材料（4人分）

千切り大根（乾）	20g
人参	40g
きゅうり	40g
ツナ	50g
(A) ヨーグルト(無糖)	40g
マヨネーズ	18g
酢	15g
三温糖	12g
塩	少々
こしょう	少々

作り方

- たっぷりの水の中に千切り大根を入れ、千切り大根の表面をこするようにしてみ洗いをする
- 千切り大根をざるにあげ、さっと湯をかけ、水気を絞り、4~5cmの食べやすい長さに切る。人参ときゅうりを千切りにする。
- 人参ときゅうりをさっとゆで、しっかり絞っておく。
- ボウルに千切り大根、人参、きゅうり、ツナを入れ、(A)を入れよく混ぜる。
- 塩・こしょうで味を調える。

(1人分の栄養価) エネルギー104kcal、たんぱく質3.4g、カルシウム44mg、食塩相当量0.3g



川南HPはこちら



フェイスブックはこちら



マチイロはこちら

広報 かわみなみ Vol.192

令和8年(2026年) 1月8日発行

発行／川南町 編集／総務課

〒889-1301 宮崎県兒湯郡川南町大字川南13680-1

TEL 0983-27-8001 FAX 0983-27-5879

川南町ホームページ : <https://www.town.kawaminami.miyazaki.jp>
川南町フェイスブックページ : <https://www.facebook.com/kawaminamitown>

LINE 検定
できます！

この町の“品質”から生まれる“品質”
“川南品質”
MADE in JAPAN
MADE by KAWAMINAMI PERSONALITY

古くても、
壊れても、
不動車でも

トラクター・重機・トラック・農機具
どこよりも高く
買い取ることを
目指して!!

どこでも
駆け付け
ます！

どこでも
駆け付け
ます！

TEL 0986-77-9092 古物商許可 第951040015111号

農機具高価買取専門店
アヴァンティ
Avanti 携帯 : 080-3375-9750
https://kaitorimiyazaki.jimdo.com

あなた的心に残る一枚を…

- 記念写真 ¥10,000~
- 証明写真 ¥1,000~
- 遺影写真 ¥19,800(即日仕上げ)

Shiraishi
PHOTOGRAPHIC
白石写真館
SINCE 1930

☎:0983-27-4306



★ 令和7年 わくわく教室開催 ★

未就学のお子さんと保護者の皆さん遊びに来ませんか。午前中のおよそ1時間です。1回だけでも参加できます。希望の方はお電話ください。

1月20日(火) 鬼の面作りと豆まき
2月17日(火) 思い出の写真立て作り

園児募集(1~5歳)
下記までご連絡下さい

平成幼稚園 0983-27-3881
1歳から入園できます。里帰り出産などの一時預かりもいたします。

海老原総合病院

◎眼科専門医が着任

△外来ペインクリニック開設

◆抗がん剤治療(消化器・乳腺)

TEL:0983-23-1111



地図

H P

Instagram